

教育課程等の概要															
(大学院教育学研究科高度教職実践専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門高度化基盤科目	教育課程に関する編成・実践	学びの地図と資質・能力	1	2			○		1	2					オムニバス方式・共同（一部）
		カリキュラムマネジメントと教師の役割	1	2			○		2	1					オムニバス方式・共同（一部）
		社会に開かれた教育課程と授業開発	1	2			○		1	2					オムニバス方式・共同（一部）
		小計（3科目）	—	6			—		3	3					
	教科関の実践的領域指導に	授業設計・教科内容構成論（基礎）	1	2			○		1	4					オムニバス方式・共同（一部）
		授業設計・教科内容構成論（応用）	1	2			○		1	4					オムニバス方式・共同（一部）
		教育における臨床の学の創造	1	2			○		1	2					オムニバス方式・共同（一部）
		小計（3科目）	—	6			—		2	7					兼1
	生徒指導・教育相談に関する領域	子どもの生活と行動・実態把握論	1	2			○		2	1					オムニバス方式・共同（一部）
		子どもの生活と行動・実態把握論（特別支援）	1	2			○		2	1					オムニバス方式・共同（一部）
		子どもの生活と行動・実態分析論	1	2			○		2	1					オムニバス方式・共同（一部）
		子どもの生活と行動・実態分析論（特別支援）	1	2			○		2	1					オムニバス方式・共同（一部）
		特別支援教育と学校・学級経営	1	2			○		1						オムニバス方式
		特別支援教育と学校・学級経営（特別支援）	1	2			○		1						オムニバス方式
		小計（6科目）	—	12			—		3	1					兼3
	校級経営に関する領域	安心・安全な学級・学級づくり（基礎）	1	2			○		2	3					オムニバス方式・共同（一部）
		安心・安全な学級・学校づくり（応用）	1	2			○		2	1					オムニバス方式・共同（一部）
		小計（2科目）	—	4			—		2	3					兼2
	員のある方に関する領域	地域協働と学校づくり	1	2			○		2	2					オムニバス方式・共同（一部）
		教師の成長と子どもの発達	1	2			○		1	2					オムニバス方式・共同（一部）
		小計（2科目）	—	4			—		3	3					兼3
	（基礎実習） 学校における実習①	学校課題探究実習Ⅰ	1	2				○	3	3					集中
		学校課題探究実習Ⅱ	1	2				○	3	3					集中
		小計（2科目）	—	4			—		3	3					

専門 高度化 探究科目	教科 探究科目 共通科目	教育における臨床の知	1・2	2		○	1	3				兼1	オムニバス方式・共同（一部）		
		教育実践記録と授業分析論	1・2	2		○	1	2						オムニバス方式・共同（一部）	
		社会変動と学力論	1・2	2		○	2							オムニバス方式・共同（一部）	
		クロスカリキュラムの学習と評価	1・2	2		○	2							兼1	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・国語科）	1・2	2		○								兼3	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・国語科）	1・2	2		○								兼3	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・社会科）	1・2	2		○	2							兼7	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・社会科）	1・2	2		○	2							兼7	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・算数）A	1・2	2		○		1						兼4	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・算数）A	1・2	2		○		1						兼4	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・数学科）B	1・2	2		○		1						兼4	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・数学科）B	1・2	2		○		1						兼4	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・理科）A	1・2	2		○	1	1						兼5	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・理科）B	1・2	2		○	1	1						兼6	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・理科）A	1・2	2		○	1	1						兼5	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・理科）B	1・2	2		○	1	1						兼6	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・英語科）	1・2	2		○		1						兼3	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・英語科）	1・2	2		○		1						兼3	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・技術科）	1・2	2		○	1							兼2	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・技術科）	1・2	2		○	1							兼2	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・家庭科）	1・2	2		○		1						兼4	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・家庭科）	1・2	2		○		1						兼4	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・音楽科）	1・2	2		○		1						兼4	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・音楽科）	1・2	2		○		1						兼4	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・美術科）	1・2	2		○								兼2	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・美術科）	1・2	2		○								兼3	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（基礎・保健体育科）	1・2	2		○		1						兼5	オムニバス方式・共同（一部）
		授業検証と教科内容開発（応用・保健体育科）	1・2	2		○		1						兼5	オムニバス方式・共同（一部）
小計（28科目）	—	56		—	8	9						兼46			

特別支援・子ども支援科目	インクルーシブ教育総論	1・2		2			○		1	1				兼2	オムニバス方式・共同(一部)	
	特別支援教育コーディネーター概論	1・2		2			○		2					兼2	オムニバス方式・共同(一部)	
	支援が必要な子どもと学校教育Ⅰ(知的障害・自閉症スペクトラム障害等)	1・2		2			○		2					兼1	オムニバス方式・共同(一部)	
	支援が必要な子どもと学校教育Ⅱ(感覚障害・運動障害・身体疾患系)	1・2		2			○			1				兼2	オムニバス方式・共同(一部)	
	不登校・学校不応状況と学校教育	1・2		2			○		2	1					兼3	オムニバス方式・共同(一部)
	子どもをめぐる社会的諸問題と福祉	1・2		2			○			1					兼3	オムニバス方式・共同(一部)
	特別支援教育とICT	1・2		2			○		1	1					兼2	オムニバス方式・共同(一部)
	小計(7科目)	—		14			—		4	2					兼5	
学校課題解決マネジメント科目	地域協働フィールドワーク論	1・2		2			○		2					兼1	オムニバス方式・共同(一部)	
	リーガルマインドによる学校づくり	1・2		2			○		2	1				兼1	オムニバス方式・共同(一部)	
	学校安全と防災教育	1・2		2			○		3	2					兼1	オムニバス方式・共同(一部)
	情報リテラシーとICT	1・2		2			○		1	1				兼1	オムニバス	
	グローバル教育課題の探究	1・2		2			○		2					兼3	オムニバス方式・共同(一部)	
	幼年期の教育と幼保小連携・接続	1・2		2			○			2				兼2	オムニバス方式・共同(一部)	
	小計(6科目)	—		12			—		6	5				兼7		
専門高度化深化科目 (臨床実践)	学校課題解決実習	2	2				○		5	4					集中	
	臨床教育開発実習	2	4				○		5	4					集中	
	小計(2科目)	—	6				—		5	4						
	実践的指導力融合科目	実態把握と実践適応論	1	2				○		14	14					共同
		実践適応と評価・分析論	1	2				○		14	14					共同
		臨床教育総合演習A	2	2				○		12	13					共同
		臨床教育総合演習A(特別支援)	2	2				○		2	1					共同
		臨床教育総合演習B	2	2				○		12	13					共同
		臨床教育総合演習B(特別支援)	2	2				○		2	1					共同
	小計(6科目)	—	12				—		14	14						
	合計(67科目)		—	20	114			—		16	14					兼57
	学位又は称号		教職修士(専門職)			学位又は学科の分野			教員養成関係							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
修業年限	2年	1学年の学期区分	2期
修了所要単位数	46単位	1学期の授業期間	15週
専門高度化基盤科目		1時限の授業時間	90分
共通5領域	各領域2単位以上 合計20単位		
学校における実習①（基礎実践）	4単位		
専門高度化探究科目			
教科探究科目	} 8単位		
特別支援・子ども支援科目			
学校課題解決マネジメント科目			
専門高度化深化科目			
学校における実習②（臨床実践）	6単位		
実践的指導力融合科目	8単位		
(履修科目の登録の上限：36単位（年間）)			
○専門高度化基盤科目共通5領域の履修について			
3つの履修プログラムで共通に履修する必修科目であり、各領域2単位以上、合計20単位を修得する。各学生の必要に応じて各領域の科目を修得することができる。			
○専門高度化探究科目の履修について			
3つの履修プログラムに対応したそれぞれの授業科目において8単位以上履修すること。			
○学校における実習の履修について			
「専門高度化基盤科目」の中の「学校における実習①（基礎実践）」4単位（「学校課題探究実習Ⅰ」「学校課題探究実習Ⅱ」）および「専門高度化深化科目」の中の「学校における実習②（臨床実践）」6単位（「学校課題解決実習」「臨床教育開発実習」）の合計10単位を修得する。「専門高度化基盤科目」での実習を踏まえ、「専門高度化深化科目」で発展的な実習を行う。			
○専門高度化基盤科目における共通5領域の生徒指導・教育相談に関する領域、および専門高度化深化科目における実践的指導力融合科目の履修について			
特別支援教育の専修免許状の取得を希望する場合は、「〇〇〇〇（特別支援）」の科目を履修すること。			

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要															
（大学院教育学研究科高度教職実践専攻【既設】）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育課程	「子どもの学習指導」教育課程・指導支援法開発論	1		2			○		1	2				オムニバス方式	
	「子どもの生活と行動」教育課程・指導支援法開発論	1		2			○		2	1					オムニバス方式
	教育課程・指導支援法開発論 a	1		2			○		2	2					オムニバス方式・共同（一部）
	教育課程・指導支援法開発論 b	1		2			○		1	2					オムニバス方式
	小計（4科目）	—		8			—		4	3					
教科指導	「子どもの学習指導」実態把握論A	1		2			○		1					共同 オムニバス方式・共同（一部）	
	「子どもの学習指導」実態把握論B	1		2			○		1	1					
	「子どもの学習指導」実態分析論A	1		2			○		今年度は開講しない						
	「子どもの学習指導」実態分析論B	1		2			○		4						
	小計（4科目）	—		8			—		6	1					
教育相談	「子どもの生活と行動」実態把握論	1		2			○		2	1				オムニバス方式 オムニバス方式	
	「子どもの生活と行動」実態分析論	1		2			○		2	1					
	小計（2科目）	—		4			—		2	1					
学級・学校経営	学級・学校経営研究A（学校マネジメント基礎）	1		2			○		2	2				オムニバス方式・共同（一部） オムニバス方式・共同（一部） オムニバス方式・共同（一部） オムニバス方式・共同（一部）	
	学級・学校経営研究B（学校マネジメント習熟）	1		2			○		3	3					
	学級・学校経営研究C（学校マネジメント発展）	1		2			○		4	2					
	学級・学校経営研究D（初歩）	1		2			○		1	2					
	小計（4科目）	—		8			—		4	3					
学校教育・教職研究	学校教育・教職研究A（防災教育）	1		2			○		2	3				兼2 共同 オムニバス方式 オムニバス方式・共同（一部） オムニバス方式 オムニバス方式 オムニバス方式・共同（一部）	
	学校教育・教職研究B（地域協働）	1		2			○		2	3					
	学校教育・教職研究C（リーガルマインド）	1		2			○		2	2					
	学校教育・教職研究D（初歩）	1		2			○		1	3					
	学校教育・教職研究E（初歩）	1		2			○		1	3					
	学校教育・教職研究F（組織と問題解決）	1		2			○		3	4					
	小計（6科目）	—		12			—		3	4					

教科・領域専門 バックグラウンド 科目群	幼児教育特論・特演A	1・2	2	○								兼2	オムニバス方式
	幼児教育特論・特演B	1・2	2	○								兼2	オムニバス方式
	環境教育情報特論・特演A	1・2	2	○								兼1	
	環境教育情報特論・特演B	1・2	2	○								兼1	
	自然環境教育特論・特演	1・2	2	○								兼1	
	視覚障害教育特演	1・2	2	○								兼3	オムニバス方式
	発達障害教育特演	1・2	2	○								兼1	
	聴覚・言語障害特演	1・2	2	○								兼3	オムニバス方式
	国語学特講	1・2	2	○								兼1	
	国語科教育特講	1・2	2	○								兼1	
	歴史学特講	1・2	2	○								兼2	オムニバス方式
	地理学特講	1・2	2	○								兼2	オムニバス方式
	経済学・社会学特講	1・2	2	○								兼1	
	哲学・倫理学特講	1・2	2	○								兼1	
	社会科教育特講	1・2	2	○								兼2	オムニバス方式
	解析学特講	1・2	2	○								兼1	
	代数学特講	1・2	2	○								兼1	
	幾何学特講	1・2	2	○								兼1	
	数学科教育特講	1・2	2	○								兼1	
	物理学特講	1・2	2	○								兼3	オムニバス方式
	化学特講	1・2	2	○								兼2	オムニバス方式
	生物学特講	1・2	2	○								兼3	オムニバス方式
	地学特講	1・2	2	○								兼3	オムニバス方式
	理科教育特講	1・2	2	○								兼2	オムニバス方式
	声楽特講	1・2	2	○								兼1	
	器楽特講	1・2	2	○								兼1	
	指揮特講	1・2	2	○								兼1	
	音楽学特講	1・2	2	○								兼1	
	音楽科教育特講	1・2	2	○								兼1	
	絵画特講	1・2	2	○								兼1	
彫刻特講	1・2	2	○								兼1		
美術科教育特講	1・2	2	○								兼1		

	教育保健学特講	1・2		2		○								兼1	
	運動学特講	1・2		2		○								兼2	オムニバス方式
	体育学特講	1・2		2		○								兼1	
	電気特講	1・2		2		○								兼1	
	機械特講	1・2		2		○								兼1	
	被服学特講	1・2		2		○								兼1	
	住居学特講	1・2		2		○								兼1	
	保育学特講	1・2		2		○								兼1	
	情報特講	1・2		2		○								兼1	
	生活系教育特講a	1・2		2		○								兼1	
	生活系教育特講b	1・2		2		○								兼1	
	英語学特講	1・2		2		○								兼1	
	英米文学特講	1・2		2		○								兼1	
	英語科教育特講	1・2		2		○								兼1	
	小学校英語活動特講	1・2		2		○								兼1	
	小計（47科目）	—		94		—								兼61	
実践的指導	実践適応と評価・分析論A	1	2			○		10	7						共同
	実践適応と評価・分析論B	2	2			○		10	7						共同
	臨床教育総合研究A	2	2			○		10	7						集中・共同
	臨床教育総合研究B	2	2			○		10	7						集中・共同
	小計（4科目）	—	8			—		10	7						
学校等における実践研究	基礎実践研究Ⅰ	1	2			○		10	7						集中・共同
	基礎実践研究Ⅱ	1	2			○		10	7						集中・共同
	応用実践研究Ⅰ	1	2			○		10	7						集中・共同
	応用実践研究Ⅱ	2	2			○		10	7						集中・共同
	応用実践研究Ⅲ	2	2			○		10	7						集中・共同
	教育経営実践研究A	2		8		○		4	3						集中・共同
	教育経営実践研究B	2		2		○		4	3						集中・共同
小計（7科目）	—	10	10		—		10	7							
合計（78科目）		—	18	144		—		10	7					兼63	

学位又は称号	教職修士（専門職）	学位又は学科の分野	教員養成関係	
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
修業年限	2年		1学年の学期区分	2期
修了所要単位数	46単位		1学期の授業期間	15週
教育課程	a. 2単位以上 b. 4単位以上		1時限の授業時間	90分
教科指導	a. 2単位以上 b. 4単位以上		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> a. 教育経営コース b. 授業力向上コース </div>	
教育相談	2単位以上			
学級・学校経営	a. 2単位以上 b. 4単位以上			
学校教育・教職研究 （ストレートマスター学生は、必修を含み4単位以上）	a. 2単位以上 b. 4単位以上			
教科・領域専門バックグラウンド科目群	8単位以上			
実践的指導	8単位			
学校等における実践研究 （基礎実践研究Ⅰ、Ⅱを免除された場合は、6単位）	10単位			
（履修科目の登録の上限：36単位（年間））				

（注）

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。